

科 目 名

理科教育法Ⅳ

Teaching Method of School Science Ⅳ

3年 後期 2単位 選択

堀 川 治 城

概 要

今日、国際化、情報化や科学技術の発展、環境問題への関心の高まり、少子高齢化社会の到来など、社会の状況が変化する中で、21世紀に生きる人材を育てるため、教育改革が進められている。教育内容を規定する学習指導要領が改訂され、理科は平成21年度から移行措置として先行実施される。本科目は、中学校理科の教員免許状の習得を希望するものに、理科教育史や理科の目的と目標、理科教育の内容等について、具体的に講義を行うものである。理科の教員免許状習得のための入門講座ではあるが、必修科目である。

目 標

中学校普通免許状理科の習得をめざすものが、講義を通して理科教育について学び、中学校理科教育のあり方について考えることによって、どのような理科教師を理想とし、自らはどのようになりたいかを考える機会を提供することを目標とする。

授業計画

テ ー マ	内 容
1 改訂中学校理科の構造	(1) 全体構造 (2) 移行措置
2 中学校理科教育の年間指導計画例	(1) 年間指導計画例 1 (第1分野) (2) 年間指導計画例 2 (第2分野)
3 学習指導の実際	(1) 学習指導案とは (2) 学習指導案の立て方 (3) 学習指導略案を立てる (4) 中学校理科の教科書を参考に指導の実際について考え、模擬授業を行う(実習)
4 指導要録と学習評価	(1) 指導要録と観点別学習状況の評価 (2) 「観点別学習状況」と「評定」の関係 (3) 関心・意欲・態度の評価

授業方法

各時限ごと、テキストを中心に講義・質疑を行う。必要に応じ、資料を配布し、現在の教育上の諸問題等についても考える。

評価方法

定期試験、出席状況、提出物当を総合判断し評価する。

教 材

テキスト：中学校理科教科書「1分野上・下」「2分野上・下」(新興出版社啓林館発行)
上記テキスト以外にも、テキストを作成し教材とする。